

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2011年3月1日から2021年2月23日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	大和マイクロファイナンス・ファンド	世界のマイクロファイナンス関連の債券等を主要投資対象とする外国投資証券「DWMマイクロファイナンスファンド」ークラスJ」と、主に円建て短期公社債およびコマースシャル・ペーパーなどに投資する親投資信託「東京海上マネーマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	DWMマイクロファイナンスファンド」ークラスJ	マイクロファイナンス分野の事業環境整備に貢献し、新興国や途上国の経済発展を重視する国際開発機関の発行する債券(国際機関債)、世界(主に新興国や途上国)のマイクロファイナンス機関(MFI)のローン債権、社債やCD(譲渡性預金証書)等を主要投資対象とします。
	東京海上マネーマザーファンド	内外の公社債およびコマースシャル・ペーパーを主要投資対象とします。
投資制限	大和マイクロファイナンス・ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への直接投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	DWMマイクロファイナンスファンド」ークラスJ	国際機関債の投資割合には制限を設けません。
	東京海上マネーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
配分方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して配分を行う方針です。ただし、配分対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。収益の配分に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

大和マイクロファイナンス・ファンド

第19期 運用報告書 (全体版)

(決算日 2020年8月24日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「大和マイクロファイナンス・ファンド」は、このたび、第19期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金	期 騰 落					
	円		円					百万円	
15期(2018年8月23日)	8,621		130	△	3.8	0.0	98.5	1,946	
16期(2019年2月25日)	8,758		130		3.1	0.0	98.7	1,834	
17期(2019年8月23日)	8,289		110	△	4.1	0.0	98.9	1,578	
18期(2020年2月25日)	8,727		110		6.6	0.0	98.5	1,552	
19期(2020年8月24日)	7,728		30	△	11.1	0.0	99.7	1,327	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準	標準価額		債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率
		騰 落	騰 落 率				
(期首) 2020年2月25日	円		%		%		%
	8,727		—		0.0		98.5
2月末	8,559	△	1.9		0.0		98.4
3月末	7,512	△	13.9		0.0		98.9
4月末	7,593	△	13.0		0.0		99.1
5月末	7,936	△	9.1		0.0		99.6
6月末	7,933	△	9.1		0.0		100.1
7月末	7,762	△	11.1		0.1		99.8
(期末) 2020年8月24日	円		%		%		%
	7,758	△	11.1		0.0		99.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

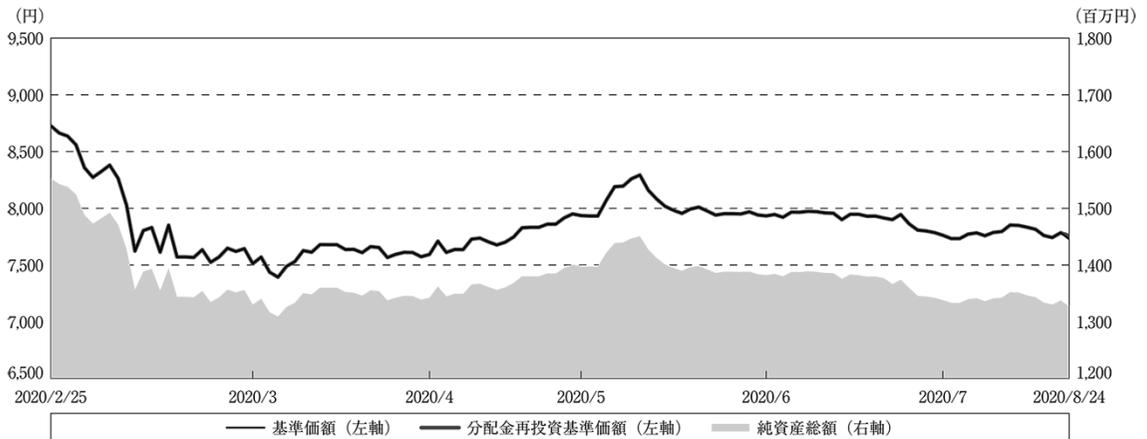
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○運用経過

(2020年2月26日～2020年8月24日)

■期中の基準価額等の推移



期首：8,727円

期末：7,728円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：△ 11.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2020年2月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・国際開発機関等が発行する債券(以下、国際機関債等)からの利息収入
- ・MFI(マイクロファイナンス機関)の短期金融商品からの利息収入

マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気悪化から、新興国通貨が日本円に対して下落したこと

■投資環境

【マイクロファイナンス市場の概況】

当期は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を大きく受けました。各国政府は、感染拡大の抑制に向け都市封鎖などを実施したものの、経済が急速に落ち込むとの懸念から、安全通貨としての日本円の需要が高まり、新興国通貨に対して円高傾向となりました。2020年4月以降は、世界各国の政府が財政および金融政策を積極的に打ち出すとともに都市封鎖を段階的に解除したことや、ワクチン開発への期待感から円高は一服しましたが、前期末対比で新興国通貨の多くは日本円に対して下落しました。

新興国のマイクロファイナンス市場における主な出来事は以下の通りです。

インドのマイクロファイナンス業界団体関係者によると、MFIの多くは、新型コロナウイルス感染拡大による都市封鎖の影響により業務に支障が生じたものの、6月以降は感染が抑制された地域の営業拠点では多くの従業員が職場に復帰し、顧客管理など通常業務を再開した模様です。また、政府がノンバンク金融会社およびMFI業界を後押しするためのいくつかの措置を発表したことにより、同業界の見通しは良好であるとしています。

【現地通貨建て国際機関債等の市場環境】

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、新興国通貨の下落に加え、国際機関債の価格も下落しましたが、期末にかけては徐々に落ち着きを取り戻しました。インド・ルピー建ての米州開発銀行とカザフスタン・テング建ての国際復興開発銀行の発行する債券の価格が上昇した一方、インドネシア・ルピア建ての欧州復興開発銀行の発行する債券の価格が下落しました。

【為替市況】

当期は、保有する全ての新興国通貨が日本円に対して下落しました。

■ポートフォリオについて

<大和マイクロファイナンス・ファンド>

「DWMマイクロファイナンスファンドJークラスJ」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーマザーファンド」（以下、親投資信託）を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に維持しました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、11.1%下落しました。

<外国投資信託証券>

当期末現在、2つのMFIの短期金融商品と6つの国際機関債等を組み入れています。通貨については、米ドルおよび7つの新興国通貨に分散投資しています。

期中に、メキシコ・ペソ建ての国際機関債が満期を迎えたため、同通貨およびカザフスタン・テング建ての国際機関債を組み入れました。また、流動性確保を目的として一部の国際機関債の売買を行いました。

MFIについては、満期を迎えたコロンビアのMFI「Banco WWB」のコロンビア・ペソ建てCD（譲渡性預金証書）等、ペルーのMFI「Financiera Confianza」のペルー・ソル建てCD等へそれぞれ再投資を行いました。一方、カンボジアのMFI「Sathapana Bank」のタイ・パーツ建てCD等、MFI「LOLC (Cambodia) Plc.」のカンボジア・リエル建て途中換金型短期融資は満期償還を迎えました。

以上の運用の結果、基準価額（分配金再投資）は下落しました。

【組入銘柄の概要（2020年7月末現在）】

資産構成

資産	比率 (%)
MFI向けローン債権、CD等	22.4
国際機関等が発行する債券	65.2
短期金融資産など	12.5
合計	100.0

保有債券等の通貨別上位5通貨

	通貨名	比率 (%)
1	インドネシア・ルピア	18.5
2	インド・ルピー	17.6
3	メキシコ・ペソ	12.9
4	ロシア・ルーブル	10.5
5	ペルー・ソル	8.2

組入上位5銘柄（MFI向けローン債権、CD等）

	銘柄名	種類	利率 (%)	満期日	通貨	比率 (%)
1	Financiera Confianza	CD等	2.500	2020/12/1	ペルー・ソル	8.2
2	Banco WWB	CD等	5.426	2020/9/20	コロンビア・ペソ	6.2
3	LOLC (Cambodia) Plc. SECOND	ローン	6.000	2020/8/10	カンボジア・リエル	4.4
4	LOLC (Cambodia) Plc. FIRST	ローン	6.000	2020/8/10	カンボジア・リエル	3.6
5						
組入銘柄数					4銘柄	

組入上位5銘柄（国際機関等が発行する債券）

	銘柄名	クーポン (%)	償還日	通貨	比率 (%)
1	欧州復興開発銀行	8.300	2020/10/2	インドネシア・ルピア	14.1
2	国際金融公社	6.250	2021/6/7	ロシア・ルーブル	10.5
3	国際復興開発銀行	8.000	2021/7/1	メキシコ・ペソ	10.1
4	米州開発銀行	5.500	2021/8/23	インド・ルピー	6.7
5	アジア開発銀行	6.450	2021/8/8	インド・ルピー	6.6
組入銘柄数				10銘柄	

(注) 比率は、「DWMマイクロファイナンスファンドJークラスJ」の純資産総額に占める割合です。

(注) 短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

(注) 「国際機関等が発行する債券」には国債等も含まれます。

(注) 「保有債券等の通貨別上位5通貨」にはローン債権、CD等も含まれます。

(注) 「DWMマイクロファイナンスファンドJークラスJ」の運用会社であるDWMアセット・マネジメント社からの情報に基づき、東京海上アセットマネジメントが作成しています。

(注) 基準価額算定の基準で記載しています。

<親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視して地方債を中心とする円建て公社債に投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいで推移しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第19期
	2020年2月26日～ 2020年8月24日
当期分配金	30
(対基準価額比率)	0.387%
当期の収益	28
当期の収益以外	1
翌期繰越分配対象額	928

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<大和マイクロファイナンス・ファンド>

外国投資信託証券と親投資信託を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちます。

<外国投資信託証券>

新型コロナウイルスの感染収束が見通せないことから、新興国市場の通貨とマクロ経済の見通しは不透明な状況が継続すると思えます。効果的なワクチン開発の実現性や有効な治療法の確立など、感染収束に向けて依然多くの点が不透明な状況にあります。さらに、新興国市場の通貨に影響を及ぼす原油価格についても、OPEC(石油輸出国機構)の加盟国間の思惑のみならず、世界的な経済活動の減退により影響を受けるとみています。このような状況下、新興国の中では政府債務の水準が低く財政支出能力が高い国、石油の輸入国や外貨準備高の高い国については、比較的良好な見通しを維持します。

以上のような投資環境のもと、今後も継続的に信用リスクや流動性リスク、MFIの事業環境などを慎重に見極め、投資を行う方針です。

<親投資信託>

国内の短期金利は、日銀が当面は緩和的な政策を継続するとの見方から、マイナス水準にとどまると予想しています。

このような環境下、政府保証債や地方債を中心とする円建て公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月26日～2020年8月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.560	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(17)	(0.220)	* 委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(26)	(0.326)	* 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	* 運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.005)	* 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	44	0.565	
期中の平均基準価額は、7,882円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

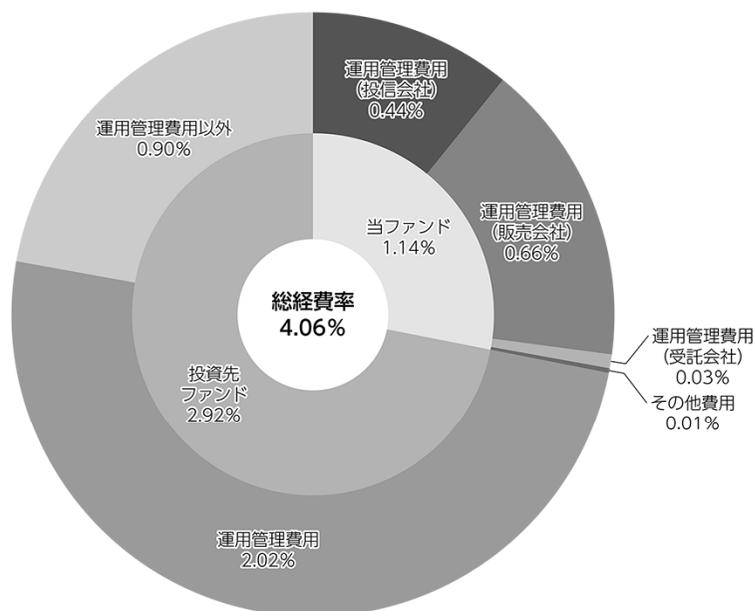
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.06%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	4.06
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	2.02
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.90

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年2月26日～2020年8月24日)

投資信託証券

銘		柄	買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	ルクセンブルグ	DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ	千口	千円	千口	千円
			—	—	38,431	30,000

(注) 金額は受渡代金です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月26日～2020年8月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月24日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末		
			口 数	口 数	評 価 額	比 率
		DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ	千口	千口	千円	%
			1,794,770	1,756,339	1,323,402	99.7
		合 計	1,794,770	1,756,339	1,323,402	99.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘		柄	期首(前期末)	当 期 末	
			口 数	口 数	評 価 額
		東京海上マネーマザーファンド	千口	千口	千円
			992	992	1,003

○投資信託財産の構成

(2020年8月24日現在)

項 目		当 期 末	
		評 価 額	比 率
	投資証券	千円	%
		1,323,402	98.7
	東京海上マネーマザーファンド	1,003	0.1
	コール・ローン等、その他	16,816	1.2
	投資信託財産総額	1,341,221	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,341,221,944
コール・ローン等	16,816,094
投資証券(評価額)	1,323,402,079
東京海上マネーマザーファンド(評価額)	1,003,771
(B) 負債	14,071,013
未払収益分配金	5,152,154
未払解約金	1,131,727
未払信託報酬	7,712,316
未払利息	28
その他未払費用	74,788
(C) 純資産総額(A-B)	1,327,150,931
元本	1,717,384,762
次期繰越損益金	△ 390,233,831
(D) 受益権総口数	1,717,384,762口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,728円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,779,319,882円、期中追加設定元本額は3,621,063円、期中一部解約元本額は65,556,183円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2020年2月26日～2020年8月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,656,689
受取配当金	12,659,783
受取利息	46
支払利息	△ 3,140
(B) 有価証券売買損益	△171,194,185
売買益	5,262,315
売買損	△176,456,500
(C) 信託報酬等	△ 7,787,104
(D) 当期損益金(A+B+C)	△166,324,600
(E) 前期繰越損益金	△215,504,007
(F) 追加信託差損益金	△ 3,253,070
(配当等相当額)	(7,176,483)
(売買損益相当額)	(△ 10,429,553)
(G) 計(D+E+F)	△385,081,677
(H) 収益分配金	△ 5,152,154
次期繰越損益金(G+H)	△390,233,831
追加信託差損益金	△ 3,253,070
(配当等相当額)	(7,176,483)
(売買損益相当額)	(△ 10,429,553)
分配準備積立金	152,310,738
繰越損益金	△539,291,499

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	4,871,355円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	7,176,483円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	152,591,537円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	164,639,375円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	958円
g. 分配金	5,152,154円
h. 分配金(1万口当たり)	30円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	30円
------------------	-----

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○(参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2020年8月24日現在)

<東京海上マネーマザーファンド>

下記は、東京海上マネーマザーファンド全体(28,567千口)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
地方債証券	9,900 (9,900)	9,905 (9,905)	34.3 (34.3)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	34.3 (34.3)
合 計	9,900 (9,900)	9,905 (9,905)	34.3 (34.3)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	34.3 (34.3)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券		%	千円	千円	
平成22年度第6回千葉県公募公債		1.08	2,000	2,001	2020/9/25
平成22年度第2回熊本県公募公債 (10年)		0.93	2,000	2,003	2020/10/28
平成22年度第2回京都市公募公債		1.11	3,000	3,000	2020/8/27
平成27年度第4回福岡市公募公債 (5年)		0.141	2,900	2,900	2020/9/28
合 計			9,900	9,905	

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

〈参考情報〉

DWMマイクロファイナンスファンドJークラスJ
(外国投資証券 ルクセンブルグ籍)の運用状況

DWMマイクロファイナンスファンドJークラスJは、「大和マイクロファイナンス・ファンド」が投資対象とする外国投資証券です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ルクセンブルグ籍 会社型外国投資法人/円建て
運 用 方 針	マイクロファイナンス分野の事業環境整備に貢献し、新興国や途上国の経済発展を重視する国際開発機関の発行する債券(国際機関債)、世界(主に新興国や途上国)のマイクロファイナンス機関(MF I)のローン債権、社債やCD(譲渡性預金証書)等に分散投資します。
投 資 制 限	国際機関債の投資割合には制限を設けません。
収 益 分 配	収益等を勘案し、分配を行うことがあります。
存 続 期 間	無期限
決 算 日	原則として毎年12月31日
管 理 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対し年率0.825%を乗じた額がファンドから投資顧問会社に支払われます。また、ファンドの純資産総額に対し年率0.07%を乗じた額がファンドから管理会社に支払われます(ただし、その額が125,000米ドルに満たない場合は、125,000米ドルとします)。この他、ファンドは、ファンドの設立に係る費用(上限2,000万円を6ヵ月間にわたり償却)、保管銀行報酬、組入有価証券の売買委託手数料等の取引に要する費用、事務委託費用(年25,000ユーロ)、信託財産に関する租税、監査報酬、法的費用、MF Iローン債権・社債の第三者評価機関への報酬等を負担します。
関 係 法 人	管理会社：アベックス・ファンド・サービスズ(マルタ)リミテッド・ルクセンブルグ支店 保管銀行：ヨーロピアン・デポジタリー・バンクS. A. 投資顧問会社：DWMアセット・マネジメントLLC.

※資金動向、市況動向、残存期間等の事情によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(1) 損益計算書

2019年1月1日～2019年12月31日
(円)

収益：	
債券およびその他資産に係る受取利息	105,511,829.15
銀行口座に係る受取利息	40,302.35
その他収益	375,186.69
収益合計	105,927,318.19
費用：	
投資顧問料	13,880,514.03
保管費用	6,763,886.86
事務管理報酬	13,557,497.99
監督役員報酬	3,331,411.63
監査報酬	2,694,589.21
年次税	131,387.20
銀行負債に係る支払利息	55,461.85
その他費用	9,019,734.72
費用合計	49,434,483.49
投資純利益	56,492,834.70

(DWMアセット・マネジメントLLC. 提供の監査財務諸表より作成)

(2) 組入有価証券の明細

国際機関等が発行する債券

2019年12月31日現在

銘柄名	クーポン (%)	償還日	通貨名	比率 (%)
ASIAN DEVELOPMENT BANK 6.450% 08/08/21	6.450	2021/8/8	インド・ルピー	7.7
INTER-AMERICAN DEVEL BK 5.500% 08/23/21	5.500	2021/8/23	インド・ルピー	6.1
INTL FINANCE CORP 8.250% 06/10/21	8.250	2021/6/10	インド・ルピー	4.0
インド・ルピー 小計				17.8
EUROPEAN BK RECON & DEV 8.300% 10/02/20	8.300	2020/10/2	インドネシア・ルピア	13.5
EUROPEAN BK RECON & DEV 6.850% 06/21/21	6.850	2021/6/21	インドネシア・ルピア	3.2
EUROPEAN BK RECON & DEV 9.250% 12/02/20	9.250	2020/12/2	インドネシア・ルピア	1.0
インドネシア・ルピア 小計				17.7
EUROPEAN INVESTMENT BANK 4.000% 02/25/20	4.000	2020/2/25	メキシコ・ペソ	6.7
INTL BK RECON & DEVELOP 8.000% 07/01/21	8.000	2021/7/1	メキシコ・ペソ	6.6
EUROPEAN INVESTMENT BANK 7.000% 07/27/20	7.000	2020/7/27	メキシコ・ペソ	2.9
メキシコ・ペソ 小計				16.1
INTL FINANCE CORP 6.250% 06/07/21	6.250	2021/6/7	ロシア・ルーブル	10.9
INTL FINANCE CORP 11.000% 01/21/20	11.000	2020/1/21	ロシア・ルーブル	4.2
ロシア・ルーブル 小計				15.0
INTL BK RECON & DEVELOP 9.500% 10/19/20	9.500	2020/10/19	カザフスタン・テング	1.7
カザフスタン・テング 小計				1.7
合計				68.4

(注) 比率は、純資産総額に占める割合です。

(注) 国際機関等が発行する債券には国債なども含まれます。

(注) DWMアセット・マネジメント社からの情報に基づき、東京海上アセットマネジメントが作成したものです。

MFI向けローン債権、CD等

2019年12月31日現在

銘柄名	クーポン (%)	満期日	通貨名	比率 (%)
Financiera Confianza	4.650	2019/12/2	ペルー・ソル	7.7
ペルー・ソル 小計				7.7
LOLC (Cambodia) Plc. SECOND	6.000	2020/2/10	カンボジア・リエル	4.2
LOLC (Cambodia) Plc. FIRST	6.000	2020/2/10	カンボジア・リエル	3.4
カンボジア・リエル 小計				7.5
Sathapana Bank	3.000	2020/4/28	タイ・バーツ	7.3
タイ・バーツ 小計				7.3
Banco WWB	5.426	2020/3/20	コロンビア・ペソ	6.2
コロンビア・ペソ 小計				6.2
合計				28.8

(注) 比率は、純資産総額に占める割合です。

(注) DWMアセット・マネジメント社からの情報に基づき、東京海上アセットマネジメントが作成したものです。

東京海上マネーマザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2020年8月17日)

(計算期間 2019年8月16日～2020年8月17日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率				
	円	%			%	百万円
9期(2016年8月15日)	10,113	0.0	100.91	0.02	87.8	79
10期(2017年8月15日)	10,117	0.0	100.86	△0.05	83.5	10
11期(2018年8月15日)	10,116	△0.0	100.81	△0.05	74.1	10
12期(2019年8月15日)	10,113	△0.0	100.75	△0.06	69.4	10
13期(2020年8月17日)	10,116	0.0	100.71	△0.04	69.0	14

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	債 組 入 比	券 率
	騰 落	率			
(期 首)	円	%			%
2019年8月15日	10,113	—	100.75	—	69.4
8月末	10,114	0.0	100.74	△0.00	69.4
9月末	10,114	0.0	100.74	△0.01	74.0
10月末	10,115	0.0	100.74	△0.01	64.8
11月末	10,115	0.0	100.73	△0.01	64.7
12月末	10,113	0.0	100.73	△0.02	55.5
2020年1月末	10,113	0.0	100.73	△0.02	74.0
2月末	10,114	0.0	100.73	△0.02	74.0
3月末	10,115	0.0	100.72	△0.02	37.0
4月末	10,115	0.0	100.72	△0.03	57.2
5月末	10,115	0.0	100.72	△0.03	62.0
6月末	10,116	0.0	100.71	△0.03	55.0
7月末	10,116	0.0	100.71	△0.04	69.0
(期 末)					
2020年8月17日	10,116	0.0	100.71	△0.04	69.0

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は設定日を100として指数化したものです。

○運用経過

(2019年8月16日～2020年8月17日)

■期中の基準価額等の推移

期首：10,113円

期末：10,116円

騰落率： 0.0%

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・安定した利息収入の獲得

マイナス要因

- ・保有する債券の評価損など

■投資環境

当期の短期金融市場は、日銀が長短金利操作付き量的・質的金融緩和を継続するなど、金融緩和環境が維持されたことにより、非常に低い金利水準が継続しました。金融緩和の度合いを知る上で着目する日銀の当座預金残高は、400兆円台から450兆円台へと拡大しており、短期金融市場の資金余剰感が一段と強くなりました。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は-0.07%程度から-0.01%程度で推移しました。また、3カ月物の短期国債利回りは、-0.44%程度から-0.06%程度で推移しました。

■ポートフォリオについて

元本の安全性と流動性を重視して地方債などを中心とする円建て公社債に投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいに推移しました。

○今後の運用方針

国内の短期金利は、日銀が当面は緩和的な政策を継続するとの見方から、マイナス水準にとどまると予想しています。

このような環境下、政府保証債や地方債を中心とする円建て公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

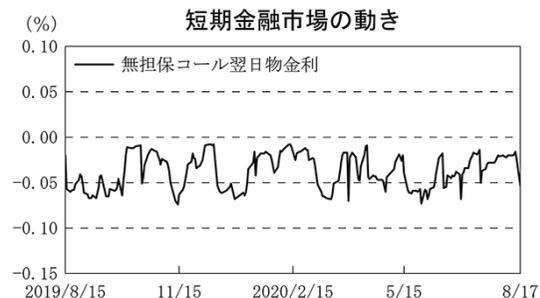
(2019年8月16日～2020年8月17日)

該当事項はございません。



(注) 参考指数は、期首(2019年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。



○売買及び取引の状況

(2019年8月16日～2020年8月17日)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 35,837	千円 — (33,400)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年8月16日～2020年8月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月17日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	9,900 (9,900)	9,907 (9,907)	69.0 (69.0)	— (—)	— (—)	— (—)	69.0 (69.0)
合 計	9,900 (9,900)	9,907 (9,907)	69.0 (69.0)	— (—)	— (—)	— (—)	69.0 (69.0)

(注) ()内は、非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については、金融商品取引業者、価格情報会社などよりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
平成22年度第6回千葉県公募公債	1.08	2,000	2,002	2020/9/25
平成22年度第2回熊本県公募公債 (10年)	0.93	2,000	2,003	2020/10/28
平成22年度第2回京都市公募公債	1.11	3,000	3,000	2020/8/27
平成27年度第4回福岡市公募公債 (5年)	0.141	2,900	2,900	2020/9/28
合 計		9,900	9,907	

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2020年8月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 9,907	% 69.0
コール・ローン等、その他	4,461	31.0
投資信託財産総額	14,368	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,368,488
コール・ローン等	4,429,927
公社債(評価額)	9,907,087
未収利息	8,336
前払費用	23,138
(B) 負債	8
未払利息	8
(C) 純資産総額(A-B)	14,368,480
元本	14,203,918
次期繰越損益金	164,562
(D) 受益権総口数	14,203,918口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,116円

(注) 当親ファンドの期首元本額は10,687,958円、期中追加設定元本額は7,144,840円、期中一部解約元本額は3,628,880円です。

<元本の内訳>

東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) マネープール・ファンド	4,970,864円
東京海上・東南アジア株式ファンド	1,100,000円
東京海上・アジア中小型成長株ファンド	1,100,000円
大和マイクロファイナンス・ファンド	992,261円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上・米国優先リートファンド(為替プレミアム)	989,316円
東京海上Rogeeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	494,511円
東京海上Rogeeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジなし)(年2回決算型)	494,511円
東京海上Rogeeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	494,511円
東京海上Rogeeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	494,511円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ユーロコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド 円コース(年1回決算型)	9,896円
東京海上Rogee世界ハイブリッド証券ファンド 米ドルコース(年1回決算型)	9,896円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	9,890円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	9,890円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2019年8月16日～2020年8月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,659
受取利息	33,831
支払利息	△ 2,172
(B) 有価証券売買損益	△ 28,655
売買益	1,500
売買損	△ 30,155
(C) 当期損益金(A+B)	3,004
(D) 前期繰越損益金	120,819
(E) 追加信託差損益金	82,265
(F) 解約差損益金	△ 14,526
(G) 計(C+D+E+F)	164,562
次期繰越損益金(G)	164,562

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) (F) 解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。

○お知らせ

弊社ホームページアドレスを一部変更したことに伴い、2019年10月1日付で所要の約款変更を行いました。